

「怒る富士」を成功させる会ニュース No.1



後援 / 青森県、青森市、八戸市、弘前市、青森市教育委員会、八戸市教育委員会、青森県社会福祉協議会、青森県ボランティア・市民活動センター、青森県老人クラブ連合会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、RAB青森放送、青森朝日放送、青森テレビ

- ◆東日本大震災から5年目を迎えました。被災地では今も約20万人が避難生活を強いられ、復興はまだまだ道半ばです。多くの被災者は、住まいや仕事をはじめ、たくさん抱えている問題を、先の見通しがたらず不安といらだちを募らせています。
- ◆東北の協同組合からの呼びかけで、6月から前進座「怒る富士」の全国巡演が始まります。青森県では県生協連を中心に、県内3市で7月に上演することとなり、青森市・弘前市・八戸市3市で「怒る富士を成功させる会」を立ち上げて取り組みを開始しました。
- ◆この作品は、今からおよそ300年前（江戸・宝永年間）の1707年に富士山が大噴火、その復興をめぐる自然と人間の闘い、政治と被災地農民との葛藤、そして、命を賭けて復興を行った関東郡代・伊奈半左衛門の苦悩と決断を描いた、感動に満ちた雄大な物語です。「我、この民を救わん」と幕府方針に反して援助を続け、最後には「駿府の米蔵を開放」し困窮する農民に振舞うという当たり前のことを当たり前に行い、民と共に生きた半左エ門忠順。
- ◆「怒る富士」をより多くの青森県民に広げ、観ていただくことで、東日本大震災を風化させず「切れ目のない復興支援活動の運動や想いを更に広げる契機」としていきましょう。

みんなが賛同者（声がけさん）になり地域に応援の輪を広げよう！

いろいろな形を工夫し、応援の輪をもっともっとひろげましょう！

- カラーチラシを使って、お知り合い、関心のある方に声がけしましょう
- 予約のおすすめをしましょう。まずはご自分の分から！
- 賛同者のお声をかけましょう。（6月末まで取組めます）

※被災地への想いを一言ずつ寄せ合いましょう！

■妻倉さんからのメッセージ■

主役の伊奈半左衛門の妻、緑子を演じます妻倉和子です。「怒る富士」は、初演から30年余、皆様の熱い支持を受けて何度も再演をしており、85周年を迎える前進座の代表的な作品のひとつです。毎回、その地域の皆様方たちとの一期一会と想って、心を込めて演じさせていただいています。富士やこぶしの花などの舞台美術の美しさ、若い農民たちの命がけの行動や恋物語など見ごたえのあるストーリーで、生きる勇気を感じただけだと信じています。是非、一人でも多くの方にご覧いただけるよう、みなさまのお声かけをお願いいたします。



2月26日(金)27日(土)の2日間、青森保健生協・コープあおもり・県生協連の企画や会議など6箇所を回り、熱くアピールしていただきました。(いつもは着物姿だそうですが、雪予報のため洋装で…)

「嵐圭史さんを囲んで」(怒る富士を倍楽しむ会)を成功させよう!

「怒る富士」の魅力をたっぷり語ります!!

◆4月8日(金)

弘前市・弘前市民会館

①14:00~16:00 ②18:00~20:00

◆4月9日(土)

八戸市・八戸福祉公会館 10:00~12:00

青森市・アスパム5階 14:00~16:00

沢山の方々にお知らせを **※参加費無料**

怒る富士の魅力、歌舞伎の成り立ち、芝居の楽しみ方など熱く語る90分是非お楽しみください。



お友達と誘いあって…ご一緒に!

A席 先行予約 を広げましょう!

- 「2人で1組」の先行予約活動がスタートします。申込は2の倍数で、何組でもOK
- 申込み期間:4月1日(金)から5月16日(月)
- 専用申し込み用紙での申し込みを徹底
- チケット引渡しとお支払いは、5月20日以降となる旨、忘れずにご確認ください。

上演日程

- 青森:リンクモア平安閣市民ホール
7月4日(月) 18:20~21:10
7月5日(火) 13:30~16:20
 - 八戸:八戸市公会堂
7月6日(水) 18:00~20:50
 - 弘前:弘前市民会館
7月7日(木) 18:00~20:50
- *A席 5,500円
B席 4,500円
学生券 2,000円
☆うち200円は東日本復興支援基金となります。